

2015年7月30日
SBIホールディングス株式会社
SBI損害保険株式会社
SBI生命保険株式会社

SBIグループとZMP社によるパーソナルな保険商品の事業化に向けた 協議開始に関するお知らせ

このたび、SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：北尾 吉孝）および子会社であるSBI損害保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：城戸 博雅）とSBI生命保険株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：飯沼 邦彦）は、株式会社^{ゼットエムビー}ZMP（本社：東京都文京区、代表取締役社長：谷口 恒、以下「ZMP社」）と連携し、損害保険や生命保険におけるパーソナルな保険商品の事業化に向けた検討を開始することをお知らせいたします。

パーソナルな保険商品とは、同じ年齢や性別であっても事故や病気のリスクによって保険料が異なる保険商品のことです。保険はこのパーソナル化が遅い分野であるといわれておりました。従来の保険商品は、本来、事故や病気のリスクは個々人で異なるにもかかわらず、同じ年齢・性別であれば同水準の保険料が適用されることが大半でした。しかし、欧米をはじめとした各国ではこの現状が変わりつつあります。

例えば損害保険の一つである自動車保険では、情報を収集する機器を自動車に設置し、自動車の走行距離や運転者の運転行動を測り、その測定結果に応じた保険料を算定するパーソナルな保険商品が開発され始めております。その結果、運転行動の改善や事故の防止などの効果をもたらすとして、社会的にも注目を集めております。また、生命保険においても、身体に装着するウェアラブル端末等を使って、健康状態に応じた保険料を算定するパーソナルな保険商品を提供する試みが始まっております。

SBIグループは、国内でパーソナルな保険商品を提供するということは社会的にも非常に意義のあることと考え、提供に向けた検討を進めておりましたが、このたび同分野に有用な様々な技術力を有する^{ゼットエムビー}ZMP社と協議を開始することで合意いたしました。今後、両者は消費者に有用な、よりパーソナルな保険の提供を目指して事業化の検討を進めてまいります。

また、昨今では自動車やウェアラブル端末などにインターネット機能を付加したIoT（Internet of Things）と呼ばれるサービスの普及が進んでおりますが、一方でハッキングリスクが高まるなどの問題が生じております。実際、アメリカではコネクテッドカーへのハッキングリスクが議会でも取り上げられるなど波紋を広げております。SBIグループで

はこのようなインターネットにそれ以外の様々な"モノ"を接続する技術である IoT に係るセキュリティ分野についても、世界中の企業を対象に投資を拡大していきたいと考えております。

ゼットエムビー
■ ZMP 社について

ゼットエムビー
ZMP 社は 2001 年に設立された企業であり、自動運転システムの開発を行うロボットベンチャーです。自動車業界では、人間が運転せずとも自動で走行できる自動運転車が脚光を浴びている現在において、2014 年末に名古屋での自動運転車の行動実験を開始しており、いち早い製品化に努めております。さらにこの技術を用いて関係各社と提携し、ロボットタクシー事業や自律型無人航空機を用いた 産業用ソリューションを立ち上げるなど国内外から大きな注目を集めています。ロボットタクシー事業においては、自動運転技術を活用した旅客運送事業の展開を目指しており、自律型無人航空機を用いた 産業用ソリューションでは、空からの測量、調査、管理、点検等のトータルソリューションを開発しています。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126